

**製品名: GSK3 $\alpha$  (リン酸化 Ser21) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04751**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000,IP 1:20-1:50
分子量	55kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GSK3A
別名	GSK3A; Glycogen synthase kinase-3 alpha; GSK-3 alpha; Serine/threonine-protein kinase GSK3A
遺伝子 ID	2931.0
SwissProt ID	P49840
免疫原	抗血清は、ヒト GSK3 $\alpha$ の Ser21 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 10-59

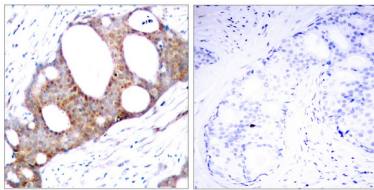
**背景**

グリコーゲン合成酵素キナーゼ 3α (GSK3A) ホモサピエンスこの遺伝子は、グリコーゲン合成酵素や JUN などの転写因子を含むいくつかの調節タンパク質の制御に関与する多機能 Ser/Thr タンパク質キナーゼをコードしています。また、WNT および PI3K シグナル伝達経路で役割を果たし、アルツハイマー病に関連する β アミロイドペプチドの産生を制御します。[RefSeq 提供、2011 年 10 月], 触媒活性: ATP + [タンパク質] = ADP + [タンパク質] リン酸。機能: グリコーゲン合成酵素、MYB、転写因子 JUN を含むいくつかの調節タンパク質のホルモン制御に関与しています。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。GSK-3 サブファミリー。類似性: 1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット:モノマー。,

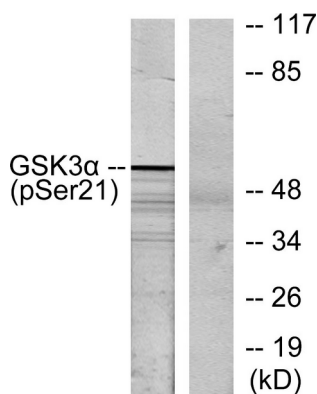
## 研究分野

ケモカイン;

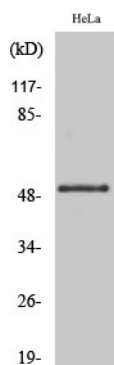
## 画像データ



GSK3α (リン酸化 Ser21) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



GSK3α (リン酸化 Ser21) 抗体を用いた卵巣がん細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。



ホスホ GSK3α (S21) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析